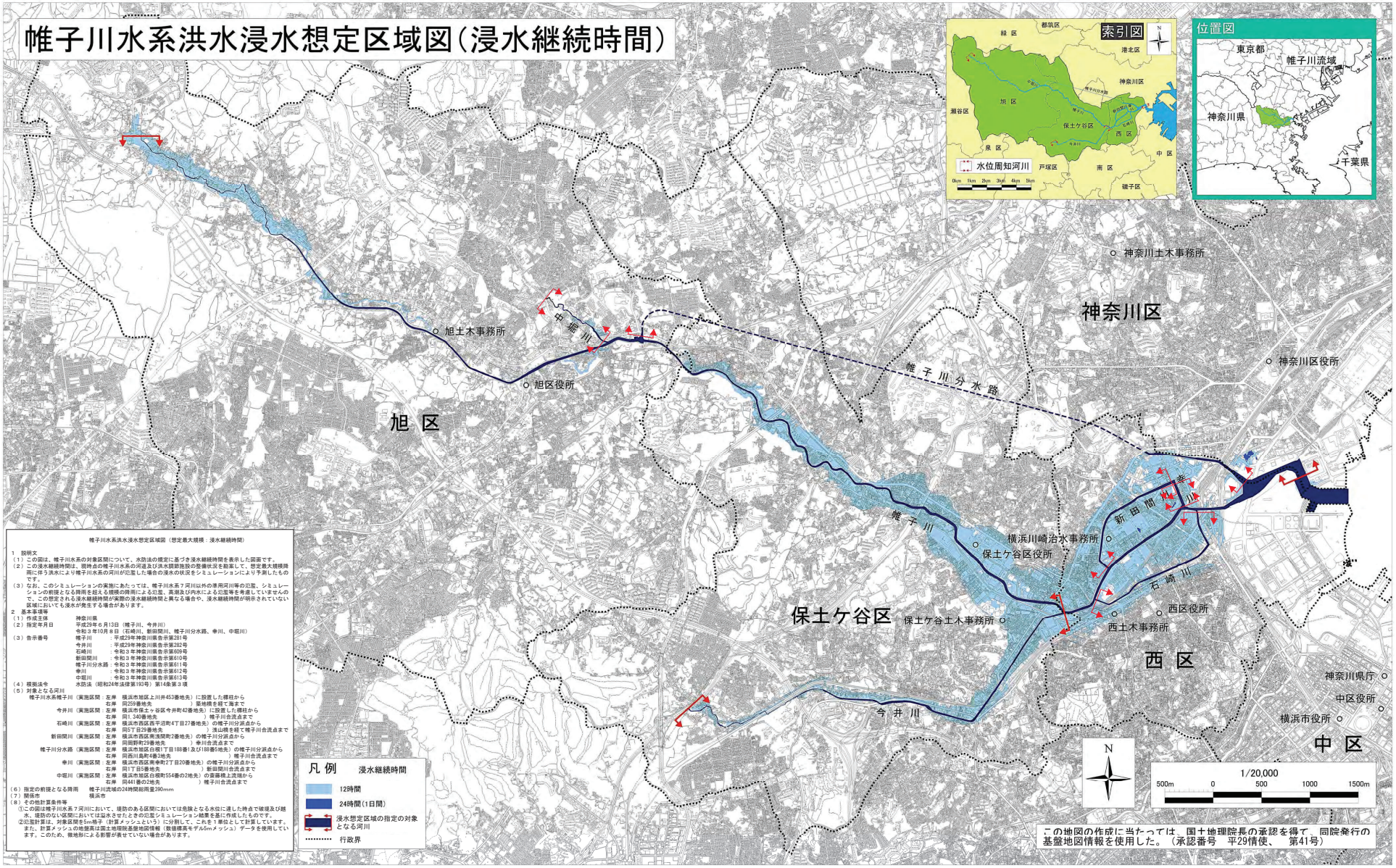
帷子川水系洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



帷子川水系洪水浸水想定区域図（想定最大規模：浸水継続時間）

1　説明文

（1）この図は、帷子川水系の対象区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

（2）この浸水継続時間は、現時点の帷子川水系の河道及び洪水調節施設の整備状況を基礎として、想定最大規模降雨に伴う洪水により帷子川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、帷子川水系７河川以外の準用河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　神奈川県

（2）指定年月日　平成29年６月13日（帷子川、今井川）
令和３年10月８日（石崎川、新田間川、帷子川分水路、幸川、中堀川）

（3）告示番号
帷子川　：平成29年神奈川県告示第281号
今井川　：平成29年神奈川県告示第282号
石崎川　：令和３年神奈川県告示第609号
新田間川　：令和３年神奈川県告示第610号
帷子川分水路：令和３年神奈川県告示第611号
幸川　：令和３年神奈川県告示第612号
中堀川　：令和３年神奈川県告示第613号

（4）根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第３項

（5）対象となる河川
帷子川水系帷子川（実施区間：左岸　横浜市旭区上川井453番地先）に設置した標柱から
右岸　同259番地先　）築地橋を経て海まで
今井川（実施区間：左岸　横浜市保土ヶ谷区今井町42番地先）に設置した標柱から
右岸　同1,340番地先　）帷子川合流点まで
石崎川（実施区間：左岸　横浜市西区西平沼町47目27番地先）の帷子川分派点から
右岸　同57目29番地先　）浅山橋を経て帷子川合流点まで
新田間川（実施区間：左岸　横浜市西区南浅間町2番地先）の帷子川分派点から
右岸　同岡野町29番地先　）幸川合流点まで
帷子川分水路（実施区間：左岸　横浜市旭区白根1丁目188番1及び189番5地先）の帷子川分派点から
右岸　同西川島町4番3地先　）帷子川合流点まで
幸川（実施区間：左岸　横浜市西区南幸町2丁目20番地先）の帷子川分派点から
右岸　同1丁目5番地先　）新田間川合流点まで
中堀川（実施区間：左岸　横浜市旭区白根町554番の2地先）の菅藤橋上流端から
右岸　同441番の2地先　）帷子川合流点まで

（6）指定の前提となる降雨　帷子川流域の24時間総雨量390mm

（7）関係市　横浜市

（8）その他計算条件等
①この図は帷子川水系７河川において、堤防のある区間においては危険となる水位に達した時点で破堤及び越水、堤防のない区間においては溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。
②氾濫計算は、対象区間を5m格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報（数値標高モデル5mメッシュ）データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平29情使、　第41号）